

# 小浜市 ゆれやすさマップ

## 震度とゆれの状況

6弱



### 【震度6弱】

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



6強



### 【震度6強】

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。



7



### 【震度7】

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

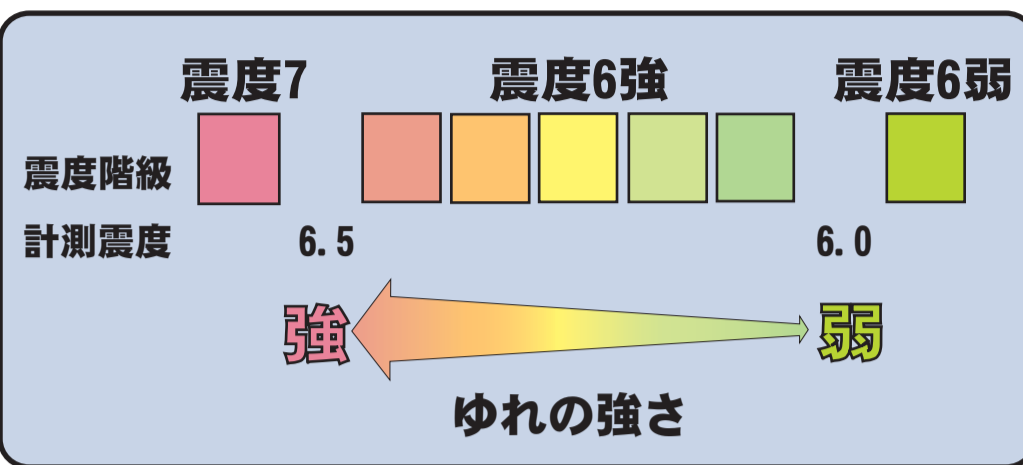


参考：気象庁HP (<http://www.jma.go.jp>)

このゆれやすさマップは、小浜市において、「影響が想定される断層帯で発生する地震」と「全国どこでも起こりうる直下型の地震」について各地震が発生した際の地表における震度を推計し、その推計結果の中から「最大震度」を地図上に表現したものです。

このゆれやすさマップは「地震防災マップ作成技術資料（平成17年3月）」に基づき作成しています。

## 凡例



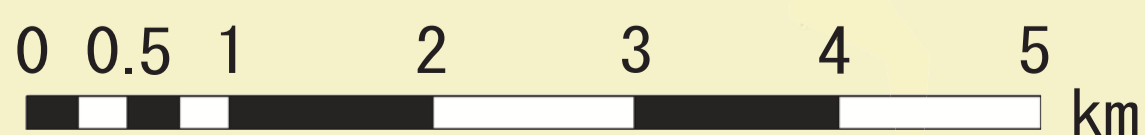
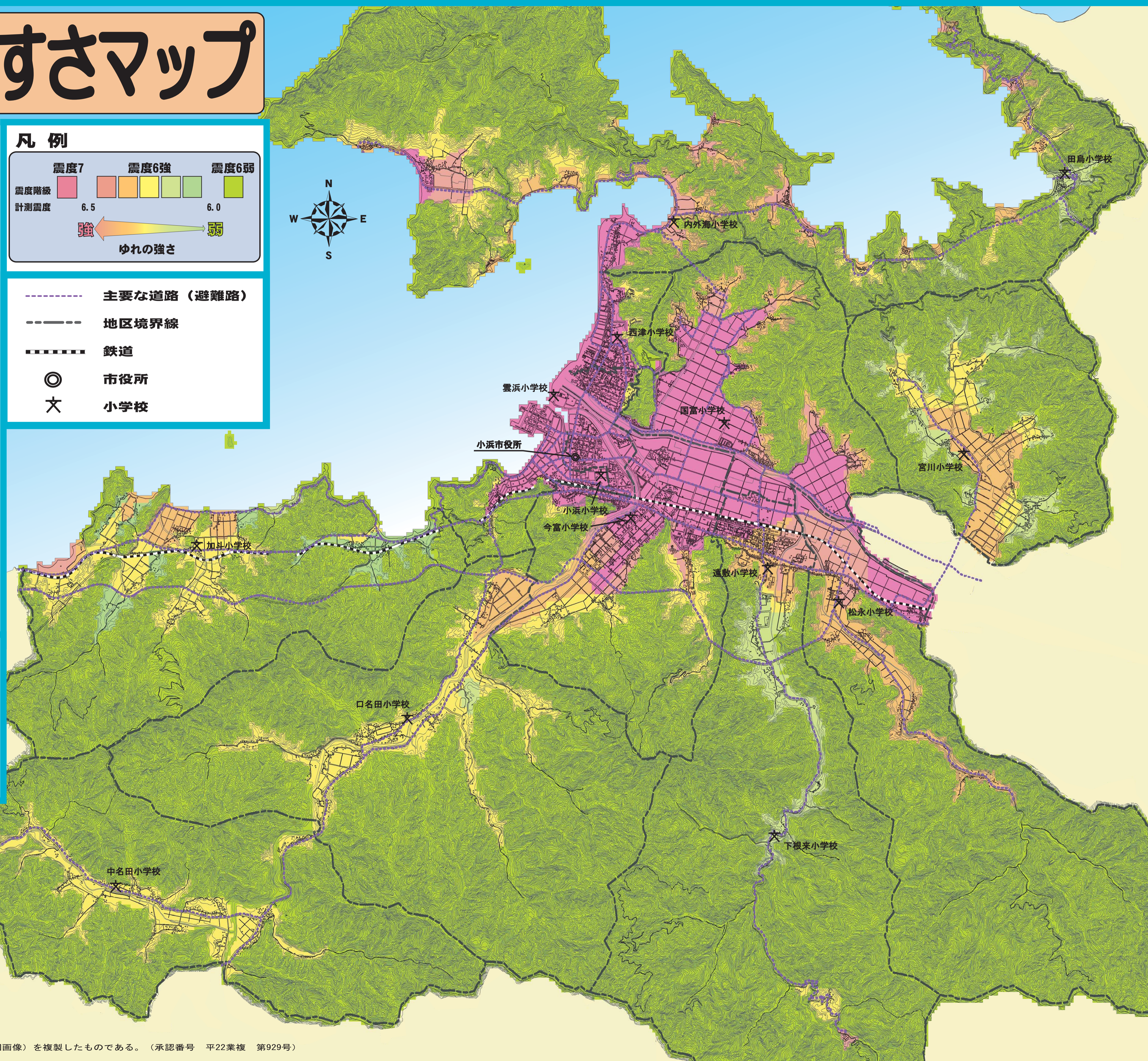
----- 主要な道路（避難路）

----- 地区境界線

----- 鉄道

◎ 市役所

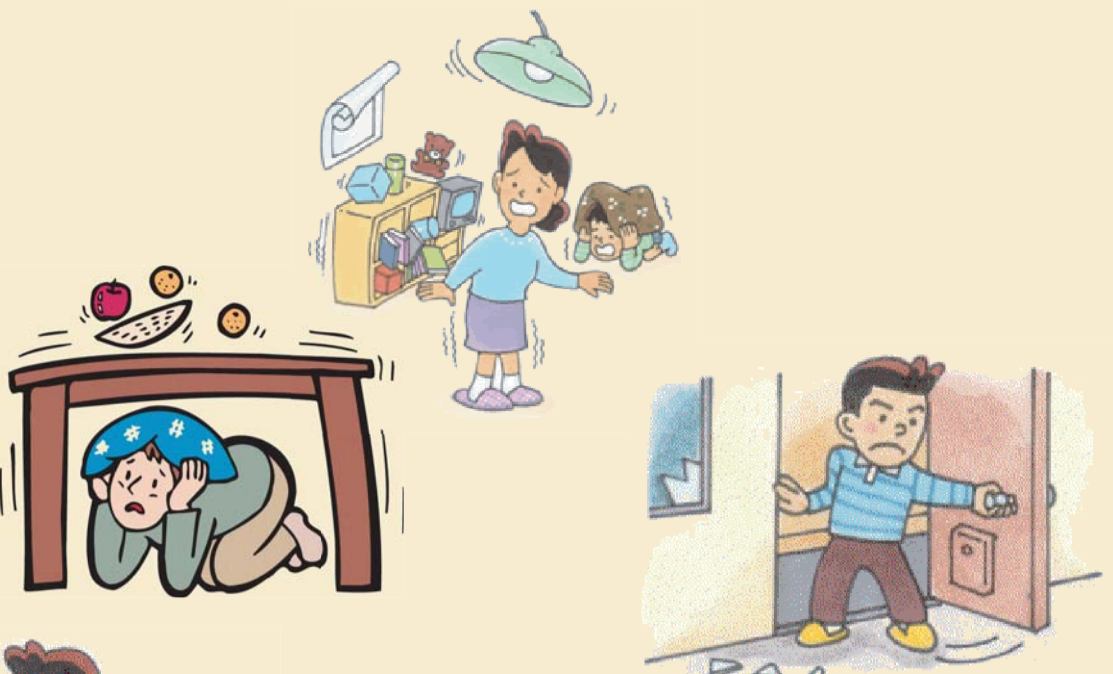
☆ 小学校



# 地震が発生したら

地震発生

**最初の大きなゆれは1分間**  
 ◎身の安全の確保  
 あわてて外へ飛び出さず、丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠す。コンロやストーブなどの消火作業はゆれが収まってから。  
 ◎非常脱出口の確保  
 玄関などの扉や窓を開けて非常脱出口を確保する。



1~2分

**ゆれが収まったらまず火の始末**  
 ◎あわてず冷静に火災を防ぐ  
 使用中のストーブなどはすばやく火を消し、プレーカーなども切る。  
 ◎火が出たらまず消火  
 万一出火したら消火器などで初期消火に努める。



3分

**安全な場所へ避難**  
 ◎狭い路地、塀ぎわ、崖や川べりに近寄らない  
 瓦が落ちてきたり、ブロック塀などがたおれてきたりして危険。山際も崩れやすくなっている。  
 ◎避難は徒歩で、荷物は最小限に  
 避難は徒歩が原則、活動しやすい服装で、荷物はなるべく背負えるようにする。



5分

**正しい情報の入手を**  
 ◎正しい情報を得る  
 テレビやラジオ、市役所、消防署、警察などからの情報に注意する。  
 ◎不要な電話はかけない



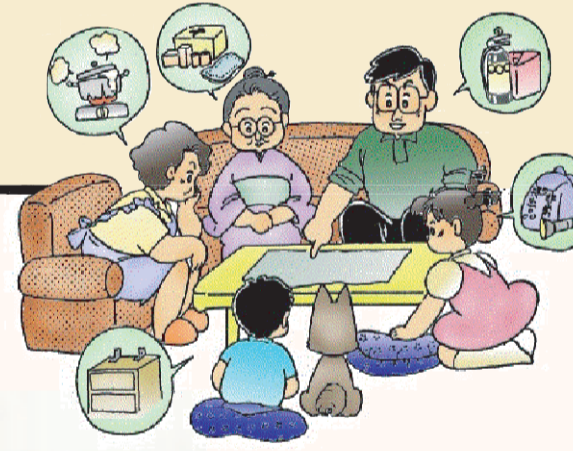
数時間~3日

**協力しあって応急救護・救出活動を**  
 ◎隣近所などの安全確認  
 近くで軽いケガなどをしている人がいたら、協力しあって応急救護する。  
 建物の倒壊などで下敷きになった人がいたら、協力しあって救出活動をする。

参考：総務省消防庁HP (<http://www.fdma.go.jp>)

# 地震に備えて

家具などは固定して倒れにくく



高いところに重いものを置かない

重いものは下の方に収納

収納物が転倒したりすべり出さないように

ガラス飛散防止フィルムなどの使用

# 非常持出品



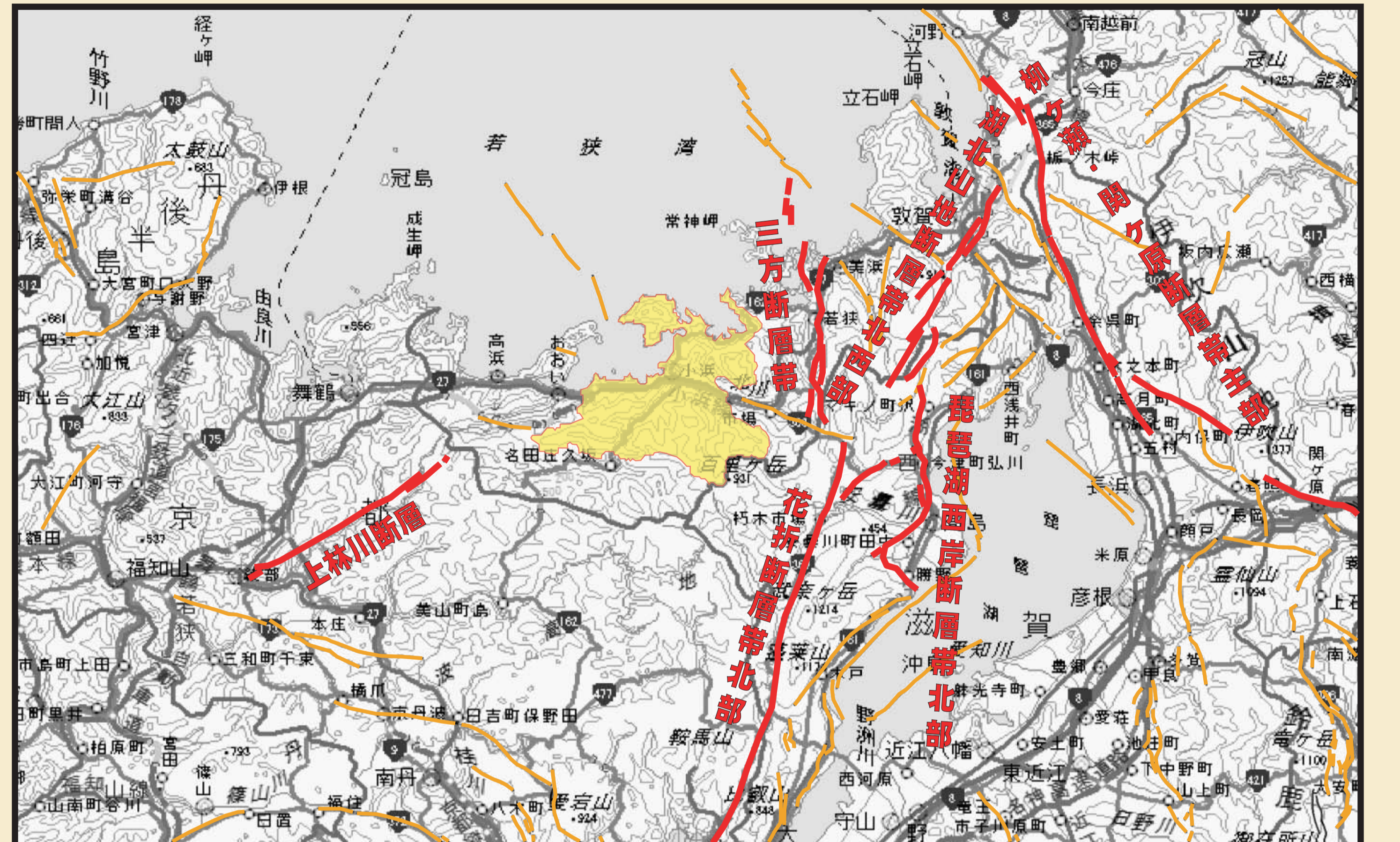
非常食3日分、水 薬、救急用品 ラジオ、懐中電灯

オムツなどの生活用品 免許証や健康保険証のコピー

衣類、タオル、ラップ、ウェットティッシュ ほ乳瓶、ビニール袋(ゴミ袋) 現金、通帳

# 小浜市 ゆれやすさマップ

「ゆれやすさマップ」とは、地形や地盤の状況を踏まえて、活断層の位置や検討地点との距離、地震の規模(M:マグニチュード)などの情報から、地点ごとの震度を計算した結果を地図上に表示したものです。(小浜市に影響が大きいと考えられる活断層は、下図に示す6つの断層帯があります。)  
 地震はいつどこで発生するか分かりません。この「小浜市 ゆれやすさマップ」で自分が住んでいるところなどがどれぐらいの震度になりうるのかを確認し、もしものときに備えましょう。



※ 産業総合技術研究所HP (<http://riodb02.ibase.aist.go.jp>) 活断層データベースに加筆

断層名等	地震の想定規模	断層の概要	地震発生確率	想定震度
柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯主部	M8.2	丹生(にゅう)山地西方の日本海沿岸から琵琶湖東岸を経て伊吹山地南縁に至る約100kmの活断層帯です。	30年以内にほぼ0%	5弱~6強
湖北山地断層帯北西部	M7.2	敦賀平野東部から琵琶湖北方の野坂山地(湖北山地ともいう)にかけて分布する活断層帯で、その内、北西部は福井県敦賀市から滋賀県高島市(旧・今津町)に至る長さが約25kmの断層帯です。	30年以内にほぼ0%	5弱~6弱
琵琶湖西岸断層帯北部	M7.8	滋賀県高島市(旧マキノ町)から大津市国分付近に至る断層帯で、その内、断層帯北部は、高島市に分布する長さが約23kmの断層です。	30年以内に1%~3%	5弱~6強
三方断層帯	M7.2	三方断層帯と花折断層帯は、美浜町沖合いの若狭湾から京都盆地南東部に至る「三方・花折(みかた・はなおれ)断層帯」と言われる活断層帯の一部です。	30年以内にほぼ0%	5弱~6強
花折断層帯北部	M7.2	三方断層帯は福井県境より北部に位置する長さ約26km、花折断層帯は南部に位置する全体の長さ約58kmの断層です。	不明	5弱~6弱
上林川断層	M7.2	上林川断層は、京都府綾部(あやべ)市から大阪府三島郡島本町へと至る「三峠(みとけ)・京都西山断層帯」と言われる断層帯の一部で、長さは約26kmの断層です。	不明	4~6弱
全国どこでも起こりうる直下型の地震	M6.9	地表で活断層が認められないものを想定しています。	不明	6弱~7

## お問い合わせ

小浜市役所 0770-53-1111 (代表)  
 ゆれやすさマップに関すること 生活安全課  
 耐震診断や耐震改修の補助に関すること 都市整備課